

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

平成29年5月27日（金）に行われた第12回の会では、地域住民の方、保護者の方、民生児童委員、ボランティア従事者、福祉関係者など11名とともに話し合いをしました。

十小地区盆踊り大会にどのように関わるか？

前回、十小地区盆踊り大会を「十小地域づくりの会」が主催できないかという提案がありました。実際の様子分からないので判断が難しいという意見もあり、今年は例年通りとなりましたが、十小地域づくりの会としてどのように関わっていくか話し合いました。

十小地区盆踊り大会とは・・・

7月に十小で開催。盆踊り、上和太鼓、花火他、有志による模擬店もある。十小児童の他、卒業生も多く来る。もともとは地域住民主催だったが、経過の中で十小が中心となり開催してきたおまつり。

案① 出店をする→出店するかどうか。出店する場合何を出すか。

案② 運営のサポートをする→全体の流れが分かるので、手伝う方が良い。

手伝ってほしい内容が示されると話し合いやすい。

その他、広報方法や経費、保険、近隣対策など、実際にどのように運営されているかわかる資料があると検討しやすいとなりました。また、出店をする場合でも、食べ物に限らず、十小地域づくりの会をPRするような内容でも良いのではないかという意見もありました。6月の十小地域づくりの会で引き続き検討する予定です。

「核になる組織」って・・・？

第11回では、いろいろな活動に取り組んでいくためには、新たな「核になる組織」をつくっていく必要があると話し合いました。といっても、それぞれが抱くイメージはまちまちです。今回は参加者それぞれのイメージを出しあいました。

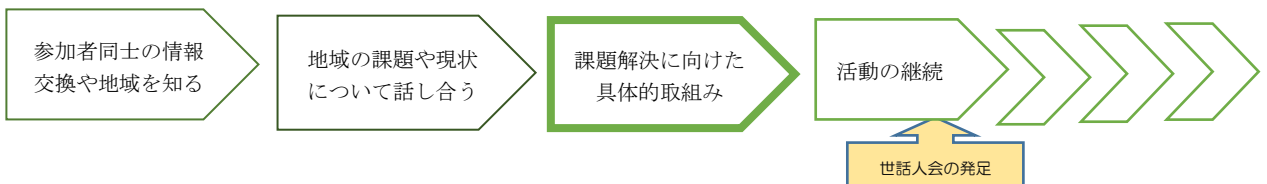
- ◆縦のつながりはある。横につながるとできないことも可能になる。それをつなげる組織というイメージ。
- ◆地域の中に顔が見える関係ができる。災害の時には顔が見える関係が大事。
- ◆地域をどのようにまとめていくかが課題。先進地にうまく続く理由など話を聞くのも良いのでは。
- ◆新しい住民とのつながりができる組織
- ◆住民だけでなく、市や社協のサポートがあるとよい。
- ◆先頭に立つ人と、事務を担う人の両方が大事

狭山市柏原団地での 取り組み紹介

- ▶高齢化が進む団地
- ▶高齢でも活躍できる取り組みをしたい！
- ▶コミュニティカフェ（常設）開設
- ▶生活のお手伝い（訪問）→地域通貨によるやりとり
- ▶地域通貨はコンビニや飲食店で使える
- ▶地域通貨の収益で、事務所維持費など支払う
- ▶各種助成金も活用している
- ▶継続できる理由：人の役に立つ、楽しい

次回は、第12回の内容を振り返りながら地域を良くする活動を継続してすすめるためにどうしていけばよいか、さらに掘り下げながら話し合っていく予定です。ぜひ一緒に考えていきましょう。

話し合いの
サイクル



**次回開催は6月26日（月）13：15～ 清瀬第十小学校2階けやきにて
どなたでも参加できます！ぜひおいでください！**